



チーム葵で魅せた体育大会



本当にかっこよかった
たくさんの勇気と感動をありがとう



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

10・11月号

「コロナ禍にあつて

校長 荻須 文裕

芸術部を担当している先生が、一枚の絵と賞状を手にして、笑顔で教えてくれました。

「〇〇君が賞をもらいました。」

見ると、岡崎城をバックに満開の桜に彩られた乙川が描かれています。人影は無く街の喧騒は感じられません。ただ夕日に染まる紅の空の下を、一艘の舟が静かに進んでいるのです。人は描かれていないと書きましたが、その舟上にはアマビエが佇んでいます。その絵からは、人々が願う平穏な世の姿が伝わってくるような気がしました。

コロナウイルスの感染が収まらず、なんとも暗い気持ちになりがちです。そんな折ですが、映画「鬼滅の刃」の大ヒットは、最近の明るいニュースとして迎えられています。次々と襲いかかる鬼と戦う主人公らの勇気もさることながら、悪役の鬼にも情をかける展開が、共感を呼んでいるようです。

先日、この人気の要因をコロナ禍との関連から論じた文を読みました。鬼と言えば赤鬼と青鬼。この赤鬼は発熱者の姿、青鬼は衰弱者の姿だということです。つまり、鬼とは疫病を意味するのだと。映画の原作となる漫画は四年

前から発刊されていますから、コロナとは無関係です。しかし、昔の人が疫病を恐ろしい鬼の仕業と考えた可能性はあるようです。恐ろしい疫病もその一つだったのでしょう。

コロナ禍における学校の諸活動はどうあるべきか。最善と思われる方法を探りながら進めています。体育大会は学年ごとに実施しました。また、来賓の皆様の招待は控えさせていただき、保護者の皆様には時間で入れ替わりをお願いしました。皆様の御協力に、厚くお礼申し上げます。

全体での練習は十分に行えませんが、どの学年の生徒たちも若きエネルギーを発散し、澁刺とした姿を見せてくれました。競技では新記録も生まれました。学年演技(三年「葵の舞」二年「伊達の黒船太鼓」一年「夢おどる」)は、力強さと躍動感にあふれていました。石巻の復興を願う「伊達の黒船太鼓」は、本校で三年間に渡り実施しました。力強い太鼓の響きに勇気が沸く思いますが、今年でひと区切りとします。これまでのご声援に深く感謝をいたします。

鬼滅の主人公が鬼と対峙して発する言葉は「全集中」。葵中の生徒たちは、これからも力強く前に進みます。

葵中体育大会

令和二年十月三十一日(土)スポーツday十一月(日)
Team 葵 磨け僕らの団結力
 ～明るく・元気に・全力で～

魅せる僕らの熱き思い

三年六組

「SKY HIGH 魅せる僕らの熱き思い」

私たちは、このテーマを掲げ、葵の舞の練習に取り組みました。

最初はうまくはいきませんでした。が、私たちにあっては伝統を受け継ぐとは、熱き思いとは何かを考え、それぞれの思いを胸に葵の舞を作り上げました。

三年生にとって、学年で一つのものを作り上げるのは、この「葵の舞」が最後になります。「葵の舞」に挑戦したことを通して、私は、今まで支えてくださった先生方や両親に、感謝の気持ちや成長した姿を見せることができました。後



輩たちに、私たちの熱き思いと、このすばらしい「葵の舞」の伝統を、これからも守って行ってほしいです。

一つの音

二年四組

練習を重ねても、全員で一つの音にするということはとても難しいと感じました。それでも、この「伊達の黒船太鼓」に込める思いについて一人一人が考えることによって、太鼓にかけるとは、間違いなく強くなってきました。

スポーツデー当日。私たちの音は一つになって葵中学校の空に響きました。見てくださった方から、「完璧だった。」と声を掛けていただき、これまでの練習の成果を発揮することができました。実感しました。先輩方から受け継いだ「伊達の黒船太鼓」も、今年で最後となりました。葵



中学校としての最後の演奏を、二五二人全員で心をつ一つにして悔いなくやり遂げられたことを、私は誇りに感じています。

突破

一年四組

学年テーマ「突破」のもと、先輩の真似ではない、自分たちの個性を出せて、みんなをあとと言わせる「夢おどる」を創りたいと思っていました。内側から外側に花が開くようなウエーブを考え、クラスごとに、タイミングを合わせる練習をしました。体の向きや、腕の角度、指先にまで気を配り、みんなでそろった動きを目指すうちに、仲間との絆も強くなりました。

本番では、声を出し、息をそろえて演技し、達成感がありました。先生方に「最高の夢おどる」だったと言われ、とてもうれしかったです。「夢おどる」の完成を、目指すなかで、自分たちの殻を突破できたように思います。



体育大会の結果

生徒会	1年			2年			3年			競技
	女子	男子	総合	女子	男子	総合	女子	男子	総合	
優勝	7組	7組	7組	6組	6組	6組	4組	6組	6組	優勝
2位	3組	3組	3組	4組	3組	2組	6組	2組	2組	2位
3位	5組		5組			4組				3位

新記録賞

二年一〇〇m

記録 11秒95

二年六〇m H

記録 9秒61

文化祭

令和二年十二月十五日(火)

発表に向けて文化部では着々と準備が進んでいます。

芸術部の見せ場

芸術部

私たちは文化祭に向けて、油絵や階段アート、先生の似顔絵の制作に取り組んでいます。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、たくさん行事が中止、延期になっっている中で、作品の発表の場があることをうれしく思います。私たち三年生にとっては最後のステージになるので、今までやってきたことを出し切って楽しい時間になりたいと思います。

また、一、二年生も個人の油絵や、協力し合って制作した階段アートの展示がありますので、ぜひ楽しんでご覧ください！



創造

メディア部

今年度、メディア部は「創造する」をテーマに活動しています。各部門がパソコンやiPadを使い、自分で考えた作品を制作しています。

私は文化祭に向けてiPadで絵を描いています。デジタルで絵を描く良さをぜひ、みなさんに伝えたいと思っています。他にも、みんなが楽しめるゲームを作っている部員や、自分で作詞した曲を歌い、その紹介動画を作っている部員もいます。

最高の演奏を

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、日々、コンクールや演奏会に向けて練習をしています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で演奏する機会が減ってしまい、とても残念に思っていました。そんな中、文化祭で演奏できることを聞き、部員全員がとてうれしく思いました。まだ、引退をせずに頑張っている先輩方にとっては、この文化祭が最後のステージとなります。

先輩方に満足していただけるように、また、全校のみんなや先生方に楽しかった、面白かったと思っただけのように、文化祭では最高の演奏を届けます。

今年も来たよ！文化祭

科学技術部

今年度の活動はこの部活の特長で

ある「柔軟性」が生まれました。公式大会が中止となっても、自らルールを作り「ロボット相撲」や「どれだけ軽量化できるかレース」などを行いました。活動の様子は文化祭の展示で紹介しています。

今回の文化祭、一・二年生はリモートでの参加です。このことが私たちにさらに困らせました。「どうしたらリモートでも楽しんでもらえるだろうか」そんなことを焦点にして部員みんなで話し合いました。

出た結論は、「爆発」でした。でも体育館が炎に包まれることはありません。多分。何をするかは秘密です。お楽しみに。

修学旅行 (九月十五日～十七日)
海の学習 (十一月十日)
 新型コロナウイルスに負けず元気よく行ってきました。

一味違う修学旅行

三年五組

新型コロナウイルスの影響で、本来の修学旅行とは違うものを経験しました。

私の一番の思い出は、沼津港でのクラス別活動です。すべ



てのことを友達と協力して行うので、話し合いが重要になります。途中でけんかが起こらないか不安だったけれど、逆に仲が深まり、あまり話したこともない子とも話せるようになりました。

海の学習で学んだこと

一年二組

例年なら一泊二日の海の学習が、今年はコロナウイルスの影響で日帰りとなりました。ですが、本来なら中止になっても仕方がないところなのに、行うことができました。とてもうれしかったです。



海岸では、砂の造形を行いました。一人では作るのが難しいことを、班のみんなで協力して砂を盛ったり、水を運んだりして協力しながら作品を作りました。この造形を作り終えたときの達成感から、協力することの大切さを学びました。これからの学校生活も、みんなで協力していきたいと思えます。

新人戦の結果

優勝

テニス部男子
バスケット部男子

準優勝

バレー部女子

三位

テニス部女子

個人の部

陸上部男子

一〇〇m

砲丸投げ

一位

陸上部女子

一〇〇mH

三位



校内放送による前期総会



表彰の記録

部活動奨励賞

西三駅伝女子部の部 七位

武藤 尊花

水野 亜美

田中有希菜

西三新人競技会

一〇〇mH 三位

防火作品コンクール

ポスターの部

岡崎市消防長賞

ミライノコスタあなたの街とアマビエ絵画展

金賞

少年の主張県大会

努力賞

今後の予定

十二月

一日(火)

中学生のための
サイエンスセミナー

委員会

九日(水)

保護者会(～一日)

一四日(月)

生徒集会、生徒議会

一五日(火)

文化祭

一七日(木)

ひまわりプロジェクト

二一日(月)

大掃除

二二日(火)

給食終了

二三日(水)

終業式

一月

始業式、書き初め会

七日(木)

給食開始、委員会

八日(金)

岡崎学力検査

一二日(火)

校内書き初め展(～一四日)

一三日(水)

二年スキー研修説明会

一八日(月)

三年技能教科記述テスト
(～一五日)

二二日(木)

三年総合テスト(～一九日)

二五日(月)

生徒議会

二六日(火)

ひまわりプロジェクト

二七日(水)

生徒集会

二九日(金)

二年スキー研修(～二八日)

二九日(金)

私立専修推薦入試

二九日(金)

二年学年休業日

葵が丘

人生は自己決定の連続

一年学年主任 三輪 恭之

「人生は自己決定の連続である。今の自分が好きならば、これからも自分の判断に自信をもち生活を送ろう。今の自分が嫌いならば、今までは逆の判断をすれば、人生は一八〇度変わったものになるだろう。」

どこでこの言葉と出合ったか、今となってはわからないが、口癖にもなっているし、日々のいろいろな場面で葵中生にも話している。

他者から助言をもらうこともあるが、結局、最後に決断するのは自分自身である。今の自分自身は、実は、過去の自己決定の集大成なのである。自分自身、人生を振り返ってみると、思い当たることがいくつもある。あの時、あの決断をしたから、今があるのだ、と。自分のことがあまり好きではない、今の自分は本当の自分ではない、というそのあなた。今この瞬間から、いつもとは違う決断をしてみよう。きっといつもとは違う世界が待っていることだろう。いつもと違う行動や判断は、勇気のいることに違いないが、新しい自分に出会えるチャンスでもある。自分を変えるは自分自身、自分を輝かせるのも自分自身である。いつもとは少し違う決断をこれからしてみてもいいだろうか。